■仕　様

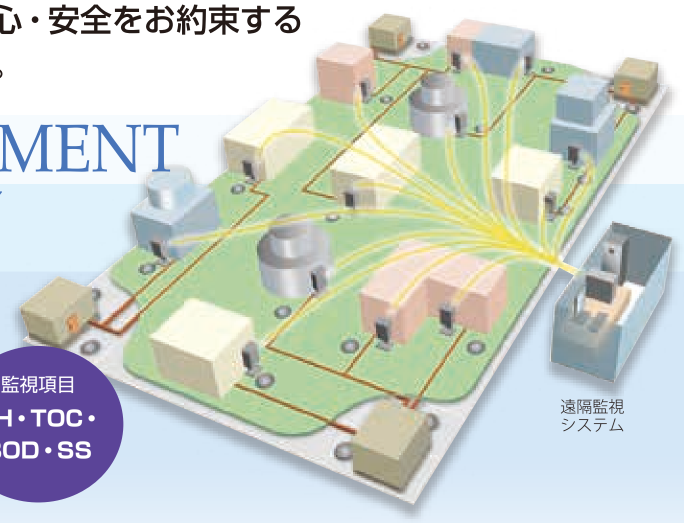
型　　式	BMS
処 理 対 象	BOD 2000mg/L 以下、SS600mg/L 以下、pH3～11
処 理 方 式	PUF 流動床による生物処理法、または、膜型活性汚泥法
BOD 測　定	TOC 計による TOC-BOD 相関による BOD 算出
処 理 能 力	最大 30m³/ 日※1
処 理 水 質	BOD600mg 以下※2、pH5～9
電　　源	AC200V-3Φ

※1 対応可能な1日あたりの最大処理量の目安で、実際の排水量・BOD 負荷に応じて、原水槽・生物処理槽・監視槽の容量を決定します。
※2 河川放流の場合は膜型活性汚泥法により、BOD20mg/L 以下となります。

排水発生源の的確な水質監視（pH・TOC・BOD・SS）を実現！
環境保全に対する安心・安全をお約束する
高信頼システムです。

ENVIRONMENT
SECURITY
SYSTEM
ESS

監視項目
pH・TOC・BOD・SS



監視用 PC

pH モニタリング装置

環境モニタリングシステム ESS

放流水質異常時の原因究明対策として、排水発生源での水質監視（pH・TOC・BOD・SS）は重要かつ有効です。エンバイシスの環境セキュリティーシステムなら、日常のメンテナンスから測定データ管理まで、簡単操作で行えるため、排水の発生源での水質監視に最適です。

さまざまな分野への 納入実績ご紹介

学校

中和装置 HNR

工場

凝集処理システム APC ①

工場

凝集処理システム APC ②

医療

連続加熱滅菌システム SRAX

研究所

加熱滅菌システム SRS

※仕様及びデザインは予告なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。

⚠ 安全に関するご注意

1/ 排水は、人体に害を及ぼす危険があります。むやみに触れないよう、また、触れる場合は、保護具を着用してください。
2/ 感電防止のため、制御盤の必要操作部以外はむやみに手を触れないでください。
3/ 機器類の整備は必ず停止中に行ってください。

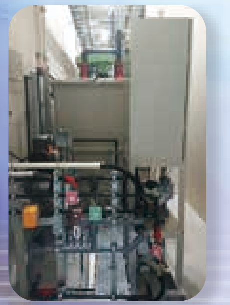
株式会社エンバイシス　http://www.envisys.co.jp/

本社・営業本部　〒670-0972　兵庫県姫路市手柄2丁目121番地
TEL.079-234-1804　FAX.079-233-0395
神 戸 支 店　〒657-0035　神戸市灘区友田町3丁目6番15号 KHK灘ビル3F
TEL.078-858-8154　FAX.078-858-8153
東 京 支 店　〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町3丁目3番1号 TKiビル5F
TEL.03-5226-2571　FAX.03-5226-2574
福 岡 営 業 所　〒812-0011　福岡市博多区博多駅前4丁目36番32号 N・Sハカタビル7F
TEL.092-292-5755　FAX.092-292-5719
技術研究所・工場　〒671-2134　兵庫県姫路市夢前町菅生澗923-2
TEL.079-335-3378　FAX.079-335-3141

ENVISYS
ENVIRONMENT SYSTEM

TOC計利用
BOD監視
機能付

水処理システム BMS



自社開発の TOC 計と相関により、
BOD をスピーディーに測定。
放流水 BOD を、最適なタイミング
で監視します。

BOD
TOC

株式会社エンバイシス

TOC計利用
BOD監視
機能付

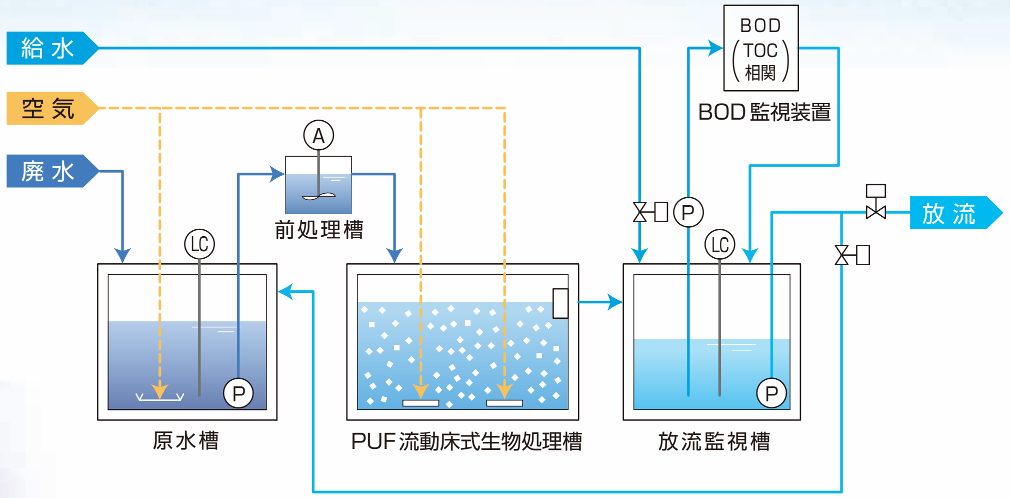
水処理システム BMS

生物処理後の放流水BODを、TOC計により相関から確実に監視。BOD見える化による、安全・安心システムを実現。

廃水のBODを排出基準値以内に処理して放流する場合、一般的に放流水のBOD管理は、定期的に放流水をサンプリングして分析機関にてBODを測定することで行っています。この方法では、BOD測定に1週間程度かかるため、放流水の必要なタイミングでのBOD管理において問題があります。

この問題を解決するためにエンバイシスでは、放流水のBOD測定が必要なタイミングで、自社製TOC計により放流水のTOCを測定し、あらかじめ求めておいたTOCとBODの回帰直線により、BODを瞬時に算出します。放流水のBOD異常時には、放流水を原水槽に返送して再処理するか、または希釈することで、常に適正な放流水のBODを維持します。

■ フローシート



■ 処理概要

BOD含有廃水を原水槽に受入れ、一定流量で生物処理槽（PUF流動床※）に送水して排水基準値以内に適切に処理します。生物処理槽から排出された処理水は監視槽に一時貯留され、TOC計によりTOC−BODの回帰直線からBODを算出し、基準値以内であれば放流します。また、基準値を超えた場合は、原水槽に返送して再処理するか、適切に希釈を行ったあと再度BODを算出して放流基準値以内であれば放流します。

※河川放流の場合は、膜型活性汚泥法になります。

■ 特　長

自社製TOC計による最適な水質管理

廃水処理装置制御盤と常時通信し、BOD相関自動演算機能を搭載した自社開発のTOC計により、放流水BODの水質管理のメンテナンス性や信頼性が優れています。

オンライン型TOC計
HK-TOC1000

多彩なBOD除去方法の選択

廃水のBOD除去方法には、排出基準値に応じてPUF流動床やMF膜型活性汚泥法を採用します。これらの処理方法はBOD除去効率に優れているため、設置の小スペース化に有効です。

的確な前処理装置の設置

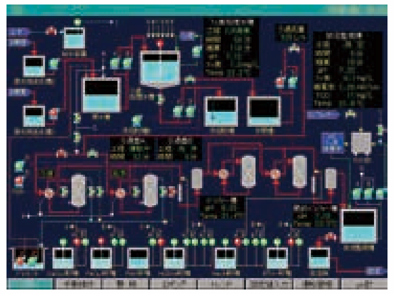
廃水が酸性やアルカリ性、または消毒剤などを含む場合、生物処理を行う前段で中和、還元処理を行い生物処理に対する負荷の除去や、放流水が排出基準値pH範囲内となるように調整します。

最適なレイアウト設計

設置スペースに応じて、メンテナンス性を考慮した装置の最適なレイアウトをご提案します。

TFTカラーLCDタッチパネル搭載

操作性・視認性に優れたTFTカラー LCDタッチパネルを搭載しています。タッチパネルではpH・温度・BODなどの値を、一定間隔で記録するロギング機能やグラフ化するトレンドグラフ機能に加え、警報発報時には発報と復旧時間を記録する警報履歴機能を搭載しています。さらに、ロギングデータや警報履歴データはUSBやSDカードにCSV形式で保存でき、容易にパソコンで閲覧できます。



タッチパネル画面

水質監視項目をアレンジ

水質監視項目には BOD以外に、SS(濁度計から相関により算出)、pH、導電率、DOなどをご用意していますので、必要に応じてアレンジできます。

オンライン型濁度計
HK-TB2000

専門サービススタッフによるサポート体制の充実

専門のサービススタッフによるサポート体制も充実していますので、納入後のトラブル発生時も適切に対応します。また、メンテナンス契約による充実したメンテナンスサービスもご提供していますので、日常的な保守・管理面も安心です。

メンテナンス風景

パソコンやタブレットによる遠隔操作・監視で、メンテナンス効率が大幅アップ

パソコンをタッチパネルと同期して、遠隔操作および遠隔監視を行うことができます。また、タブレットとタッチパネルを同期させれば、自動運転時のフロー画面に表示される各機器の動作状況に応じた実際の機器の動作確認や、各機器の近傍からの手動操作による動作確認が容易に行えるため、メンテナンス効率が大幅にアップします。

遠隔操作